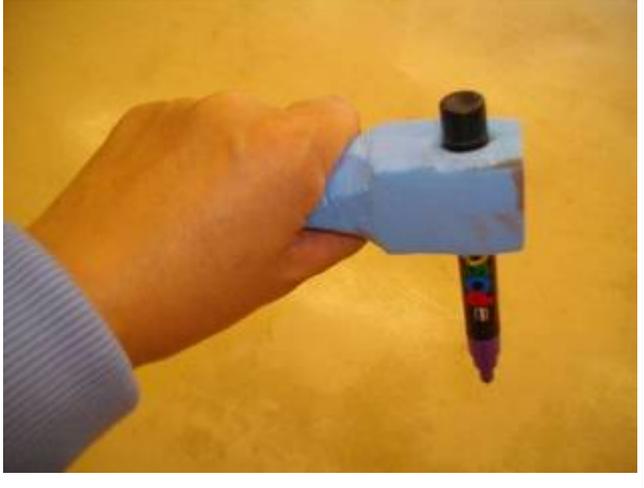


教材事例書式

| 教材教具名 | 筆記補助具 | 教科（遊び学習） | 情報提供者（訪問学級） |
|---|-------|--|-------------|
|  | |  | |
| <p>教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p> | | | |
| <p>1 ねらい 筆記具を安定して保持し、児童生徒の動きを援助する。</p> <p>2 発達段階 重度重複障害で自発的な動きが難しい児童生徒。</p> <p>3 使い方 筆記具を補助具の穴にはめ、児童生徒の手を補助具に載せ教師が手を添えて描画を行う。</p> | | | |
| <p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p> | | | |
| <p>筆記具の感触（冷たい硬い）に抵抗があって緊張しがちであった児童が、安心して補助具を握ることができた。ウレタンの感触がやわらかく刺激の少ないものであったためと考えられる。児童に緊張が少ないため上肢をしっかりと動かすことが可能になった。</p> <p>また、ローラーや動くおもちゃの握る部分などにもウレタンを削って利用している。</p> | | | |